

## あなたは大丈夫？

# 『メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)』

### メタボリックシンドロームとは…

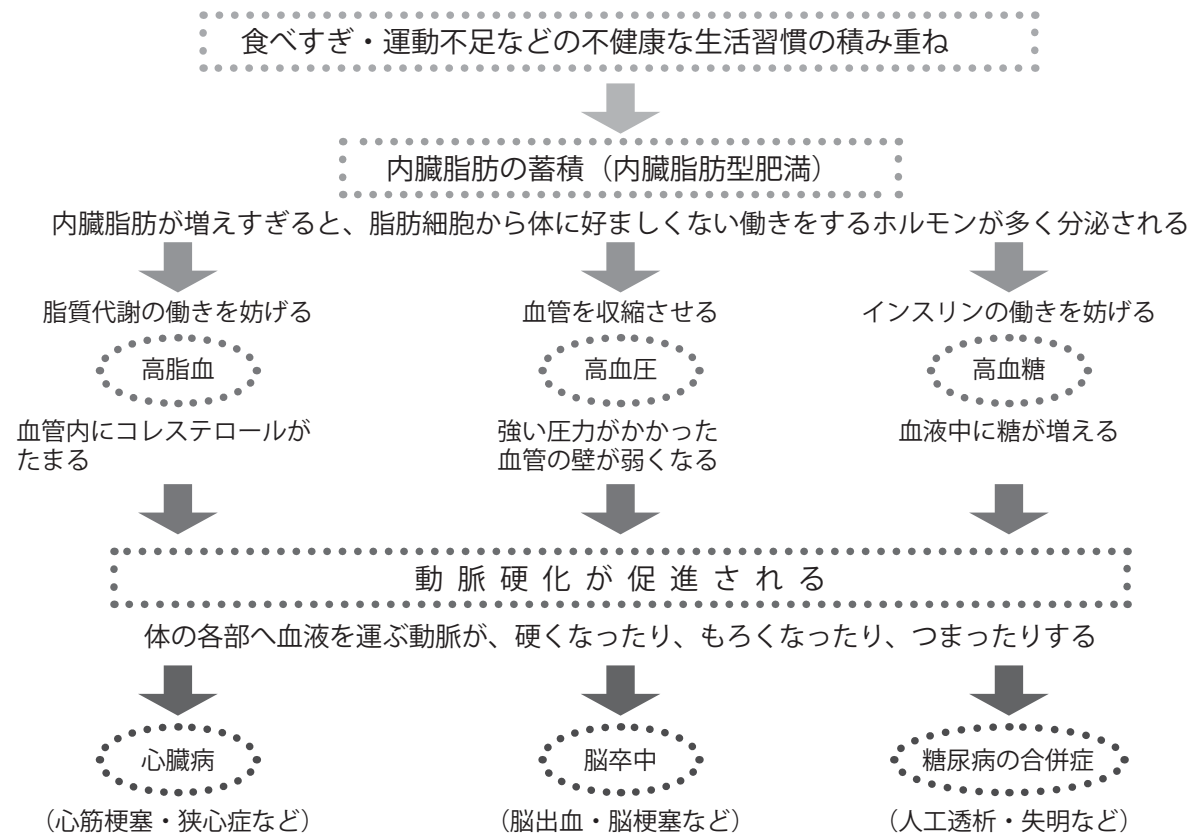
内臓に脂肪がつく「内臓脂肪型肥満」の人が、高脂血・高血圧・高血糖のうち2つ以上をあわせ持っている状態です。それぞれの程度が軽い場合でも、あわせ持つことで急激に動脈硬化が進み、心疾患（心筋梗塞・狭心症など）や脳血管疾患（脳梗塞・脳出血など）の発症する危険が高まるのです。肥満・高脂血・高血圧・高血糖のうち3つ以上をあわせ持った場合、まったく持たない人に比べると、心疾患の発症する危険は約36倍と高くなります。また、心疾患と脳血管疾患は、日本人の三大死因の2位と3位になっています。

### メタボリックシンドロームの診断基準は…

内臓脂肪型肥満（①腹囲）に加え、②脂質・③血圧・④血糖のうち2項目以上に該当すると、メタボリックシンドロームと診断されます。  
（日本内科学会や日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会などの内科系8学会が合同で策定）

<b>① 腹囲</b> 男性：85cm以上 女性：90cm以上 ※ 息を吐いたときに おへその高さで測 ります。	+	<b>② 脂質</b> 中性脂肪値が 150mg/dl 以上 HDL コレステロール値が 40mg/dl 未満 の両方またはいずれか <b>③ 血圧</b> 最高血圧が 130mmHg 以上 最低血圧が 85mmHg 以上 の両方またはいずれか <b>④ 血糖</b> 空腹時血糖値が 110mg/dl 以上 ※ ②～④で薬剤治療中の方は、数値が正常でも、 それぞれの項目に該当します。
---	---	---

## こうして進む！『メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)』



★ メタボリックシンドロームは、30歳代では男性の約20%、女性の約3%ですが、40歳から74歳でみると、男性の約52%（2人に1人）、女性の約20%（5人に1人）と大幅に増えています。

# 町の住民検診が 19年度から有料になります

現在、住民検診は無料（全額町負担）で行なっていますが、平成19年度から検診料金の一部を受診する人に負担していただくことになりました。町の財政も厳しい状況であり、また「自分の健康管理」という意識の更なる向上につなげていただくためにも、町民のみなさんご理解とご協力をお願いいたします。

平成19年度 住民検診自己負担金額表

検診項目	集団検診（保健センター）		個別検診（町内医療機関）	
	検診料金	自己負担額	検診料金	自己負担額
基本健康診査	5,250円	0円	8,505円	0円
胸部検診	結核	430円	0円	/
	肺がん	430円	100円	
	かくだん 喀痰検査	1,890円	200円	
胃がん検診	3,360円	400円		
前立腺がん検診	1,365円	200円		
乳がん検診	視触診のみ	1,680円	200円	/
	視触診・マンモ グラフィ併用 (1方向：50歳以上)	4,620円	500円	
	視触診・マンモ グラフィ併用 (2方向：40歳代) ※1	6,930円	600円	
子宮がん検診	2,520円	300円	6,825円	600円
骨密度測定	2,000円	200円		
大腸がん検診			1,785円	200円

※1 乳がん検診の「視触診・マンモグラフィ併用（2方向：40歳代）」については、厚生労働省の指針に基づき、平成19年度から従来の実施方法を変更して実施します。

●の部分、実施していない項目です。  
●自己負担額は、平成18年度の検診料金から算出しています。

●次については従来どおり無料になります。

《検診項目》 基本健康診査、結核検診  
 《受診者》 70歳以上の人（平成20年3月31日現在）、生活保護受給世帯

●自己負担金は、検診受診日当日に徴収します。  
 70歳以上の方は、生年月日が証明できる健康保険証などを、生活保護受給世帯の方は生活保護受給カードを、それぞれ検診受診日当日に持参すると上記の無料対象になります。  
 ●問合せ先 役場保健環境課 健康係  
 ☎ 932-1151